

令和6年度 第6回市長と能ん美りカフェトーク

辰口校下婦人会との市長と能ん美りカフェトーク

日 時 令和6年11月5日（水）19:00～20:30

会 場 辰口福祉会館 交流ホール

参加人数 17人

○辰口校下婦人会 会長ご挨拶

○市政報告

（令和6年能登半島地震）

・能美市内でも震度5強を観測する地震に見舞われた。市内での一番大きな被害は、緑が丘ののり面崩落により、市道が20m程陥没したことである。現在もまだ直っていない。このほか、美化センターののり面崩落や福岡小学校のプールの液状化、神社の燈籠や石碑の倒壊等があった。

・能登から避難をされてきた方に対応するため、避難所を開設した。避難所だけでなく、市営住宅や借り上げた市内のアパートに住まわれたり、友人や知人の家に身を寄せられた方もいらっしゃるして、一番多いときで約350名の方が避難をされていた。避難所の運営にあたっては、女性会の皆さんにいろいろなサポートしていただき、改めてお礼を申し上げたい。避難所に避難されている方はいっしょらなくなったが、みなし仮設住宅等に身を寄せている方はまだいらっしゃるの、引き続きしっかりサポートをしていきたいと思う。皆様のご理解とご協力をお願いしたい。

（令和6年度事業・施策／方針・目的）

・事業・施策の方針に7本柱があり、毎年5つの方針・目的を設定し、そのすべてが移住定住の促進につながるように取り組んでいる。自治体の勢いや繁栄を表す数値はいろいろあるが、私は人口が重要だと思っている。人口増には自然増と社会増があり、今、日本の

ほとんどの自治体と同じように能美市も自然減となっている一方、能美市は社会増である。ただ、自然減を社会増で補えず、少し人口が減ってきている。いかに子育て環境を充実させるか、また、健康寿命を延ばすかが重要であり、そのための取組を行っている。

(防災減災対策)

- ・一昨年(2021年)の8月の大雨により、様々な被害が出たことを受け、手取川宮竹用土地改良区と協定を結び、大雨警報が出たときに手取川から取水しないようにした。これによって、宮竹用水を宮竹排水として使うことができ、市内に降った雨を手取川又は梯川に流すことで、内水被害に対して効果が出るようになった。
- ・一昨年(2021年)の8月の大雨で特に被害の大きかった和気小学校前の鍋谷川の川幅を広げている。

(地域ブランドの確立)

- ・幸福度や暮らしやすさ等を市民に調査したウェルビーイング指標によると、能美市の強みは「住宅環境」や「子育て」、「自然の恵み」であり、弱みは「買い物・飲食」「遊び・娯楽」「移動・交通」であった。しかし「遊び・娯楽」では、市内には、いしかわ動物園や手取フィッシュランド、アドベンチャーガーデン能美等があり、遊ぶ場所はそろっているのではないかと思う。「買い物・飲食」についても、のみ商業協同組合の75店舗やスーパー、ドラッグストアがある。ただ、ファストフード店やコーヒーショップを望む声があるので、能美市にないお店を充実させていかなければならないと思っている。
- ・企業誘致が大変好調であり、市税収入が増えている。令和元年度に初めて90億円を超え、その後も順調に推移をしている。また、戦略的に企業誘致を行うことで、ものづくり企業だけでなく、女性が働く場所が増えてきている。
- ・辰口フラワーハウスの跡地については、新型コロナウイルス感染症と物価高、材料不足の影響で、開発が遅れている。市民農園の移設は完了し、あとは進出してくれる会社を募集するだけなので、どのようなお店がほしいのか等、ご要望をお聞かせいただきたい。
- ・サイエンスパークについては、県と一緒に企業誘致を行っているが、なかなか決まらないのが現状である。
- ・和気の岩ドッグランが大人気であり、手狭なので拡張を行う予定である。
- ・企業誘致が好調な分、従業員を確保するため、住む場所が必要となることから、宅地造成を行っている。和光台五丁目も現在分譲中である。

- ・市内に11の小中学校があるが、生徒数が減ってきている小学校もあることから、金沢大学跡地を購入し、新しい町を作る予定である。加賀産業開発道路沿いを活性化させていく。
- ・虚空蔵・東能七郷エリアには、史跡名勝が多いので、面としてつないでアピールする計画である。
- ・里山体験として、田植え体験や田んぼラグビー、トレイルランニング、マウンテンバイク等、体験型のメニューを取りそろえて、人を呼びたいと思っている。
- ・能美市のことを広くPRし、能美市を選んでもらえるように、シティプロモーションを行っている。例えば、名誉観光大使である松井秀喜氏に協力をいただいたいて、アニメを制作し、テレビCMを行っている。

(インクルーシブシティ構想)

- ・子どもから高齢者、障がいのある人、外国人など、能美市に住む全ての人が安全・安心、快適に暮らせるよう、デジタル技術と市民力を活かした地域共生社会の実現に取り組んでいる。
- ・町会長や民生委員、保護司等にタブレットを持ってもらい、ペーパーレス・相互連絡に役立てている。
- ・市内82の公民館にWi-Fiを整備して、デジタル公民館に取り組んでいる。
- ・スマートハウスとして、IoT家電による見守り等も行っている。
- ・東日本大震災のときに多くのカルテが流され、診療情報がわからなくなることが発生し、全国的に電子カルテ化が広まった。今回の能登半島地震では、能登の一部の人が電子カルテに登録してあったことから、避難先の能美市でも薬をもらったり、透析したりすることができた。能美市全体で同じ電子カルテを広げることによって、検査結果を他の病院やクリニックでも確認でき、医療費が安くなり、診療時間が短くなるという利点があるほか、病院やケアマネージャー、薬剤師、救急隊等が情報を共有できるようになるメリットがある。また、万が一、能美市に大きな災害が起こり、市民が他自治体に避難しても、そこでスムーズに薬がもらえるようになるので、少しずつ今準備を進めている状況である。
- ・のみバスだけではまかなえないので、デジタルの力によって生活スタイルを変えようと取り組んでいる。公民館でのオンライン診療の実証を行っており、ライドシェアサービスの実施も予定している。

(能美市誕生20周年・北陸新幹線県内全線開業)

・能美市には北陸新幹線の駅がないので、小松駅に「となりは能美市」という看板を出してPRしている。金沢へ行くホームのエスカレーターがない階段のところにあるので、ぜひご覧になっていただきたい。

○辰口校下婦人会 自己紹介

○意見交換

【参加者】辰口フラワーハウス跡地の利用について、これまで提言させていただいて、ことあるごとに進捗状況をお聞きしている。通るたびに更地になったり、看板がきれいになったりして、整備が進んでいると感じる。友達や知り合い等から、「あそこどうなるのだろう」との話題も出ていて、辰口でとても関心度の高い場所である。どちらかと言うと、道の駅は市外の方が対象となるかと思うが、実際に住んでいる辰口の人にとって良い場所になると嬉しい。

【参加者】飲食や買い物をする場所になると良いと子どもと話している。フードコート、ハンバーガーショップ、コーヒーショップなど、気軽に行ける場所になると良いと思う。個人的にはシンプルなデザインの雑貨店が好きである。

【参加者】ファミレスは安くて、高校生も利用しやすくて良い。

【参加者】子どもたちがしゃべりながら、少し勉強もできるような飲食のお店があると良いと思う。

【市長】能美市にお土産を買う場所が少ないとの意見が多かった。柚子や押し寿司を作っている人からも、一堂に商品を見せる場所がほとんどないと言われている。辰口フラワーハウス跡地の近くには、動物園や丘陵公園、アドベンチャーガーデン能美があり、お土産を買うにはぴったりの場所である。道の駅的機能というのは、お土産を買えるという意味である。あちこちに視察に行き、コンパクトなお店がいくつもあるのが最近の流行りだと思ったが、外で食べることになるので、夏の暑さや雪や雨により人が少なくなる。そういうスタイルはこの場所では無理なような気がしている。小さなお店に入ってもらえる全天候型施設が良いのかもしれない。また、敷地の広さが7,700㎡しか広さがないので、駐

車場が取れず、ファミレスも雑貨店もというわけにはいかない。羽咋市のLAKUNAはくいには、コーヒーショップが入っており、にぎわいを見せている。2階に子どもの遊ぶ場所があり、3階に会議室やパソコンルームがある。ああいうような施設も良いのではないかと考えている。核になるキーテナントがないと、なかなか人を寄せられない。今、いろいろな可能性を考えながら検討している。もう少し待っていてほしい。

【参加者】辰口福祉会館のお風呂利用者が毎日300人、多い時で500人いると聞いた。たくさんの人に利用されている。ただ、辰口福祉会館に行くにはバスや車が必要である。辰口フラワーハウス跡地に来たときに、そこからエレベーターで辰口福祉会館に行けると、高齢者にとって良いのではないかと。近くの商業施設に椅子と机が置いてあり、中学生や高校生が勉強している。そういう場所が図書館以外にあると良い。夏の暑さが厳しいときに、できれば家でクーラーをつけているよりも、友達としゃべりながら、ジュースを飲みながら勉強ができる場所があると良いと思うので、LAKUNAはくいのように学習室を作ってほしい。

【市長】限られた7,700㎡の中にどんな機能を持たせるか、何を優先させるかということなので、皆さんのご希望を聞きながら進めたい。勉強スペースがほしいという声も聞いている。

【参加者】寺畠なので、買い物に行くのに不自由している。お年寄りには車に乗れないので、買い物に行けない。私たちが仕事しているので、平日は連れて行くことができず、土日で買い物をしている。のみバスも帰りは荷物が重いので、難しい。帰りだけでものみバスのフリー降車をしてもらえると助かる。デジタル公民館については、総会の時に初めて耳にした。今どきの考え方で良いが、年配の方はデジタルに抵抗感があるので、フォローアップしてもらえると、より良い取り組みとなるのではないかと。

【市長】のみバスのフリー乗降は簡単なようで、結構ハードルが高い。安全性の問題で、どこでも乗り降りできるわけでもない。ただ、里山エリアはのみバスの車両をワゴン車に変えたので、できるのではないかとはいはしている。バス会社と相談しながら、進めていきたい。また、国造、里山エリアは移動に不便で、高齢化率も高いので、交通弱者を対象としたライドシェアに取り組もうとしている。今、利用区間や料金、運転手等のアンケート調査を行っている。それをもとに判断していく。デジタル公民館については、コミュニティサポーターを育成して、サポートしてもらおうと考えている。デジタル技術が進めば進むほど、人の力がないとサポートできない。先ほど、オンライン診療の話もさせてい

ただいたが、すべての病気に対応できるわけではなく、慢性疾患かつ医師からオンライン診療可能だと判断された人しか受けることができない。今、粟生町をモデルケースにして、実証を進めており、いろいろな課題を解決しながら、順次広げていこうと考えている。

【参加者】病院に行くと待ち時間が長い。糖尿病の義父を病院に連れていくと、下手をすると3時間以上待つことになる。オンライン診療ができるようになれば、すごく助かる。

【参加者】卒寿になる母が、辰口のいきいき体操で一番古い生徒になっている。連携バスが宮竹東から先端大の方に上がってしまうルートであるため、のみバスに乗るのに灯台笹から宮竹東まで15分かけて歩いている。冬場は雪が降ると歩けないので、大好きな体操に行けない。

【参加者】のみバスを実際に使ったのは、今30代になる息子が冬にバスで中学に通学していた時と、小松方面の高校に通っていた時である。高校生ときは、誰も家族が迎えに行けないときに小松駅から能美根上駅まで電車に乗り、そこからのみバスに乗って、2時間弱かけて帰っていた。

【参加者】辰口地区は、金沢や小松の学校に行くのに苦勞する場所である。皆さん、どのように高校生のお子さんは通学しているのか。

【参加者】のみバスは使っていない。金沢市内の高校に行くのに鶴来駅を利用している。ジャイストシャトルも利用できるが、南部倉庫からもう少しこちらに来るバスが有れば助かる。

【市長】結局、公共交通は利用者数によることになる。利用者数が多いと、北鉄や市もバスを出せる。調査や要望により、今ののみバスのルートやダイヤとなっている。利用者数が増えれば、バスを出せる。タクシーだけではなく、バスの運転手もどんどん少なくなってきたおり、乗る人数が少ないところは、どんどんバスが減っている。私も北鉄のバスに乗ったことがあるが、あまり人が乗っていなかった。

【参加者】里山地区は高校生の通学が大変である。自転車を使うにしても、不審者やクマなどが出る。

【市長】ある程度の人数がまとまって、町会やエリアでバスを出せば、市から助成を行っている。小松大谷高校等への通学が不便だという声があって、朝・夕に大型バスを借りるということで、市で補助金を出していた。ある程度の利用者が揃えば、対応できる。

【参加者】テレビでどこかの自治体が、児童手当に高校生の通学費用を上乗せするという

ことをやっていて、足りないにしても助かるという内容だった。家計を助けるような、定期の補助などはないのか。

【市長】物価高騰やエネルギー費も高くなっているので、通学費に限って支援するのではなく、子育て世代に対して支援しようと、今、給食費の無償化を実施している。ピンポイントではなく、全体を包括する支援をして、環境を良くしようとしている。

【参加者】寺井は北鉄のバスが走っており、根上には駅がある。他の地区の役員と話していると、通学の不便に驚かれることがあった。辰口校下特有の悩みであると思う。平等で一律が一番良いとは思いますが、申請式でこのあたりの地区に補助はできないのか。

【市長】通学で言えば、冬季間、小中学生にバスを出しているのは、辰口しかない。

【参加者】少しでも安くするために、バスとJRを利用したいとみんな思っている。定期の減額等の補助はないのか。

【市長】IRの定期券を持っている人は、のみバスの定期が半額となる。

【参加者】市としてはPRしているが、知らない人が多いのではないか。

【市長】のみバスに乗れば、書いてあるのでわかるのではないかと思う。支援について、平等という考えがある一方、不便なところに目を向けてほしいという考えがあるのも理解できる。

【参加者】息子が工業高校に通うため、バスに乗って能美根上駅に行き、IRに乗って、小松駅から学校に向けてバスに乗るとなると、明峰高校、小松高校、工業高校、市立高校、商業高校の子が同じようなルートとなるが、本数が少なく、人が多い。帰りも乗車時間が被るといっばいとなり、待ち時間も長いので、駅で無駄に時間を過ごすことになる。親は仕事をしているので、子どもの送り迎えが難しい。本数を増やしてもらえないか。

【市長】何時ごろのことか。満車で乗れないということか。

【参加者】満車で乗れないというか、いっばいになることがあるということ。時間帯は忘れてしまったが、部活がないときは良いが、本数が少ないので駅で時間をつぶすことになる。

【市長】満車で乗れない事例は聞いていないので、本当にそのような状況があるのか調べてみる。能美根上駅には勉強できる場所「ノミスタ」がある。

【参加者】能美根上駅まで送るとなると、高校に送る時間と変わらない。工業高校、商業高校、市立高校は一番通いにくい場所にある。うちも子どもが工業高校に通っていたが、

朝のバスに乗って、小松駅で下りても、遅刻せずに工業高校に行くバスがなかった。園町で降りて、頑張っって歩けば、遅刻にはならないが、結局、それが嫌で3年間自転車で通っていた。この3校だけでも結構な人数がいるので、冬だけでもバスを出してもらえると助かる。

【市長】子どもの数が減っていて、各高校で子どもの奪い合いをしているので、高校がバスを出せば良いのではないかな。

【参加者】1時間に1本で、のみバスのスケジュールを組んでくれたのは良いが、昼間はあまり人が動かないと思うので、人が動く時間帯を重視して手厚くしてほしい。

【市長】バスの台数や運転手の確保等の問題があるので、その時間に集中して出すのが難しい。

【参加者】辰口地区の山側をモデルケースにライドシェアを早急に進めてほしい。

【市長】ライドシェアにも様々な課題があり、それらをクリアにしていかなければならない。

【参加者】ライドシェアはどれくらい進んでいるのか。早めに始めてほしい。

【市長】今、アンケート調査の段階である。

【参加者】のみバスのフリー乗降は駄目なのか。

【市長】今、北鉄バスと協議している。

【参加者】タクシーも全然つかまらない。

【市長】金沢駅でもタクシーがつかまらないことがある。能美市に限ったことではない。

【参加者】無人で走行するバスはどうか。

【市長】センサー付きの車に乗っているが、雪が降るとブザーが鳴りっぱなしである。おそらく無人バスも好天しか無理なのではないか。小松市で駅と空港を結んでいる自動運転バスも乗務員が乗っている。無人バスの開発はなかなか難しい。

【参加者】辰口は土地が安いので、結構移住してくる人が多い。和光台の人に話を聞いたが、土地を買うときには、保育園や学校に近くて環境も良く、金沢・小松も近くて便利だと言われる。しかし、10年15年先のことは全く教えてくれなかった。家を建てて、子どもが中学までは良いが、高校に行くと先ほどの話のように、不便を感じる人が結構いらっしゃる。

【市長】優先順位で何を選ぶかだと思う。和光台五丁目がなぜ売れているのかというと、土地代が安いからである。

【参加者】一生懸命、能美市のPRをされているが、まだ「のうみし」となっていたり、何があるのか聞かれたりすることがある。川北だと火祭りが大きく開催されて、川北の火祭りのことはみんな知っている。辰口にはいっぱいイベントがあつて、良いが、何か一つ能美市として大きなイベントがあると良いと思う。

【市長】やりたいが、なかなか良いものが見つからない。事例をあげると、敬老会をずっと1箇所で行っていたが、だんだん参加者が減ってきたので、通常は各町会で行っていたいて、その代わり5年に1回、有名芸能人を呼んで大きく開催しようとしている。辰口は辰口まつり、根上は根上り七夕まつりがあるが、寺井には町民参加型の祭りが無い。

【参加者】能美市といえば、これというようなものがあるといい。

【市長】市として一丸となつてできるようなことはないか考えている。来年は能美市誕生20周年であるので、1年かけていろいろなことをできないかと考えている。みんなが参加したいと思えるようなアイデアがあれば、ぜひ教えてほしい。

【参加者】仏大寺駐車場の地図の状態が良くない。

【市長】別の活用をしていこうと考えている。昔は地図が必要であったが、今はほとんど、スマホや車のナビを使うような時代になったので、目的地に行くために地図看板を見ることがない。地図のリニューアルは考えていないが、トレイルランをされる方用の地図は別途作るつもりである。立ち止まって、地図を見るような場所、例えば里山公園等の地図はきれいにしている。

【参加者】宅地の開発について、サイエンスパーク内の宅地計画が昔あったと思うが、立ち消えとなったまま止まっている。

【市長】産業を誘致して、会社に勤める人たちの宅地にしていこうと計画している。まずは産業誘致が最優先であるが、なかなかそれが進んでいない。

○閉会